

国内ネットワークサービスの利用に関する企業調査結果を発表

Japan, 2020年8月24日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内ネットワークサービス利用動向に関する企業アンケート調査結果を発表しました。これによると、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの企業が在宅勤務を実施する中、リモートアクセス環境の整備が課題となっていることが明らかになりました。

今回の調査 (2020年7月実施) では、回答企業にWANの課題について尋ねました。最も多かった回答は「インターネットやWebアプリケーションなどのセキュリティ」(36.8%)、次いで「リモートアクセスでも拠点内からのアクセスと同等のユーザー体験を提供」(32.3%)でした。また約4社に1社は「トラフィックの増加」(26.0%)を挙げました。在宅勤務を行う従業員の増加によって、これらを課題と捉える企業が増加したとIDCでは分析しています。

さらに「トラフィックの増加」を課題と回答した企業に、トラフィックの増加におけるボトルネックは何かを尋ねたところ、最も多かったのが「リモートアクセスのためのVPN装置」(57.8%)でした (参考資料参照)。

IDC Japan コミュニケーションズ リサーチマネージャーの **小野 陽子** は、「現在、在宅勤務の増加によって、従来は考えられなかった数の従業員が、インターネットを介して常時企業システムに接続し業務を行っている状況である。多くの企業にとって、新たな勤務形態に適したリモートアクセス環境の整備が急務となっている。今後は、リモートアクセスの規模拡大と、セキュリティポリシーの確実な遂行を両立するために、クラウド型のセキュリティサービスの普及が進むであろう」と述べています。

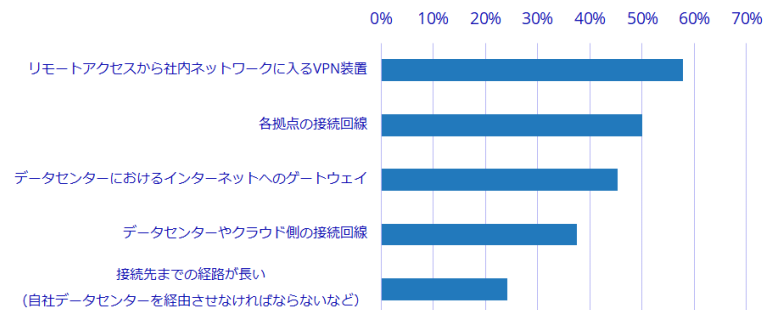
今回の発表はIDCが発行した[2020年国内ネットワークサービスおよびデータセンターサービス市場 企業ユーザー調査](#)にその詳細が報告されています。本レポートでは、ネットワークサービス、SD-WAN、ゼロトラストネットワークな

どに関する企業の利用動向を分析しています。今回の調査では特に、新型コロナウイルス感染症の企業ネットワークへの影響を重点に調査を行い、国内企業900社から回答を得ました。

< 参考資料 >

Q. 貴社のWANにおいて、トラフィック増加に伴いボトルネックになっていると思われる部分をすべてお選びください。

Figure 1



Note: n = 128、複数回答、WANの課題としてトラフィックの増加を挙げた企業が対象

Source: IDC Japan, 8/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com. All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan
jp-press@idcjapan.co.jp
+81-3-3556-4768